

みどりの 東北

MIDORI NO TOHOKU

Vol.
212
東北森林管理局



「紅葉の釣瓶落峠」(秋田県藤里町) [提供: 米代西部森林管理署]

特集

コロナ禍における森林環境教育・イベント等の取組について

[技術普及課]

CONTENTS

■美しい森林づくり

森林環境教育や森林環境活動による森林づくりの取組 [由利森林管理署]

■我が署の名所

ネコバリ岩と釣りキチ三平の家 [米代西部森林管理署管内]



着任にあたって

東北森林管理局長

宮澤 俊輔



このたび、十月一日付で東北森林管理局長を拝命した宮澤俊輔です。

私の国有林野での勤務経験は、若いころから順に並べると、北海道管林局（当時）で担当区主任、同局計画課および企画課を経て、本庁経営企画課で専門官、関東森林管理局で森林管理署長、本庁管理課で課長補佐、その後中部森林管理局で局長となっており、分野としては、施業、民間連携、自然保護、会計調達、組織・人員などに従事してきました。

した。一方、民有林分野での勤務経験では、本庁で木材行政に長く従事してきました。

東北局での勤務は初めてですが、むしろ「しがらみ」がないことを活かして、「森を相手にする業務」と「人を相手にする業務」のいずれについても、当局の優れているところはもっと伸ばし、工夫したらよくなる。これは他局での経験や当局の業務担当者の意見等を参考に、当局のやり方に手を加えて、職員の方々にとって、東北局が七森林管理局の中で一番働き甲斐のある楽しい職場となるよう局長として努めていきたいと考えています。

現在の私たちの職場は、昔と異なり国有林野事業の多くがアウトソーシングされており、林業事業者をはじめ、土木事業者、調査設計事業者等々民間事業者の皆さんのご理解とご協力なし

には、東北局が進めている「森づくりと木づかい」は現実のものとはなりません。このため、発注者と受注者に求められる緊張関係や約束事はしっかりと堅持しつつ、ルールを順守した意見交換・交流は適切かつ活発に行っていくことが、お互いの進歩発展に必要な不可欠と考えています。

コンプライアンスを遵守するため、「カネやモノ（接待などのサービスマ含む）は受け取らない」「秘密は洩らさない」の二つを絶対に踏み外さないように心掛けつつ、民間事業者の皆さんからの意見や提案に耳を傾けるとともに、こちらからも主張や指導すべきことはしっかりと発言して、お互いに尊敬し信頼できるような関係を皆で築いていきましょう。

地球温暖化防止、SDGs、地域振興、国土防災等の関心が高まり、現在、我々の仕事への追

い風が心地よく吹いています。こうした中で、①現場最前線の森林事務所や治山事業所、②現地の「森づくりと木づかい」の司令塔たる森林管理署等、そして③管内全体を統括する局、の三者が、しっかりと連携協力して仕事を進めていくことがなにより重要です。

このため、「仕事は自分で掛けて楽しむよう、能動的な姿勢を心掛ける」「仕事は省エネ第一でこなし、着手前での方向性の相談と、三分の一度程度進んだ時点での立ち止まり相談を励行して、手戻りや無駄が無いようにする」「休養、用事、趣味等のために、「お互い様」で、月に一日または八時間程度はしっかりと休む」の三つを motto にして、心身の健康と充実を図りながら働くことを、職員の方々と一緒に実践していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

特集



コロナ禍における森林環境教育・ イベント等の取組について

技術普及課

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、自然とふれあうイベントや森林環境教育も、その多くが中止や延期となっていました。昨年度計画した学校等教育関係機関を対象とした環境教育を取りまとめたところ、約3割が中止になり、一般の方を対象としたイベントは半数以上が中止となってしまいました。今回はこのような状況でも感染防止対策を講じた上で開催した環境教育・イベント、また直接現地でふれあえなくてもweb上で自然を体験していただく取組について紹介します。



野外で実施した木工教室



少人数での博物館の説明

○感染防止対策を講じての実施

・一般の方を対象にしたイベント

東北森林管理局が毎年夏に開催している「仁別の森で遊ぼう」

「う！夏休み親子森林教室」は、秋田市にある仁別森林博物館やその周辺の国有林で、博物館力イドや自然探索、木工教室を行う人気イベントです。

昨年は開催自体が危ぶまれました。

したが、募集定員を通常の半数へ減らし、移動のバスでは隣り合った座席に座らない、木工は野外で行うなどの対策を講じ、開催することができました。

今年度も同様に万全な対策を行い、事前に消毒を行った博物館で説明を聞いたり、密を避けられる自然の中で川に足をつけて沢遊びをしたりと、久しぶりに親子で自然を楽しめたと大変好評をいただきました。

・学校等教育関係機関等へ行った森林教室等

東北森林管理局では森林環境教育を推進するため、小学校などの学校等教育機関を対象に、



笹舟の折り方を習う子ども達



下刈体験の様子

国有林をフィールドとした林業体験学習や森林教室、室内で行う出前森林教室などを行っています。

今年度、技術普及課が行った森林環境教育等は、大人数で行う教室等は開催数が減少した反面、少人数で行う森林教室はコロナ禍前とほぼ変わらない数の教室が実施できました。これは、校外学習や修学旅行など他の学校行事が中止となる中、せめて森林教室はできる限り行いたいとする学校が多かったためだと思われます。下刈体験等現地で行う森林教室では、移動の際のバスの中が密になることを避けるため、二人掛け座席に一人ずつ座る、道具等の事前消毒などの徹底した対策を行い開催しました。また、室内で行う森林教室では、広い場所へ机を移動し



広い場所へ机を移動しての実施

て行ったり、資料を見てもらう際に密にならないよう資料はしばらく学校に貸出するなど対策を講じながら開催しました。

コロナ禍で多くの学校行事が中止となる中、こうした、森林環境教育の実施が少しでも思い出づくりに役立てられればと願います。(二次元バーコードを読み取ると、当局の森林環境教育ホームページにアクセスでき

ます。国有林フィールドの利用、講師の派遣・紹介等に興味のある方はご覧下さい。)



〇web上で体験の取組

・令和3年度第1回森林教室「十二湖散策」

津軽白神森林生態系保全センターでは、毎年数回、地元公共団体と共に森林教室を行っていますが、今年5月に予定した第一回目の森林教室は、近隣町村でクラスターが発生したため、残念ながら中止となりました。

同センターでは、森林教室を楽しみにしてくれた方々へ向け、開催予定地だった青森県の十二湖の探索ルートを職員が歩き、風景や植物を撮影し、ホームページ上で紹介しました。現在もホームページで公開していますので、ぜひ森林教室に参加した気分を探索してみてください。



十二湖の色とりどりの湖沼群はもちろん、途中で見かけた植物なども紹介されています

（二次元バーコードを読み取ると該当ページにアクセスできます。）



「写真集：白神山地（秋田県側）の森林生態系」藤里森林生態系保全センターでは、イベントの中止やコロナ禍の移動制限により実際に山に行けない人たちへ向けて、白神山地の自然を体験してもらおうと、「写真集：白神山地（秋田県側）の森林生態系」を昨年度よりホームページ上にアップしています。

全て同センターの職員が巡視中に撮影したもので、普段山に入っても気づかないような小さなものから職員でもあまりお目にかか

れない珍しいものまで、職員の一言ガイドつきで載せています。こちらと同センターのホームページ上に公開していますので、ぜひ覗いてみてください。（二次元バーコードを読み取ると該当ページにアクセスできます。）



写真集：白神山地（秋田県側）の森林生態系のトップページ





美しい森林づくり

森林環境教育や森林環境活動による 森林づくりの取組

由利森林管理署

由利森林管理署では、関係教育機関や森林ボランティア団体等と連携した森林環境教育や森林環境活動による森林づくりの取組を進めています。

秋田県立矢島高校では、「地域や自然の豊かさを実感し、環境問題について考える礎を育成する」ことを目的に総合学習の一環として、当署職員が講師となった林業体験（5月）と自然観察（9月）を毎年実施しています。

今年度も新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、林業体験では、水林国有林においてクロマツ林の本数調整伐等を体験し、自然観察では、鳥海自然休養林（中島台地区）において森の巨人たち百選の「あがりこ大王」や国指定天然記念物「獅子ヶ鼻湿原」等を観察しました。こうした体験・観察を通じて、海岸林整備の一翼を担っていたかとともに、自然の素晴らしさを体感していただければと思います。

森林づくりの取組

由利森林管理署

由利本荘市を拠点に活動している森林ボランティア団体「本荘海岸林を守る会」は、松くい虫被害にあった水林国有林に植栽したクロマツの下刈作業に継続して取り組んでいます。今年6月には、これまでの下刈作業により順調に生育したクロマツ林のつる切り作業も実施しました。

また、林野庁では毎年7月期を「国民の森林」クリーン月間」として設定しており、その取組の一環として「本荘海岸林を守る会」と共催し、東北森林管理局フォレストボランティアや秋田県林業士木協会の協力を得ながら、本荘海岸林に不法投棄されたゴミの清掃美化活動を実施しています。今年も、2tトラックの荷台が埋まるほどのペットボトル等のゴミの収集、処分を行いました。

今後とも、関係教育機関や森林ボランティア団体等が国有林のフィールドを活用して、森林環境教育や森林環境活動に取り組めるよう支援して参ります。



「あがりこ大王」を観察



矢島高校の皆さんと記念撮影



クロマツ林での林業体験



森林ボランティア団体等の皆さん



本荘海岸林での清掃活動



クロマツ植栽地の下刈作業



国立研究開発法人森林研究・整備機構の第5期中長期計画がスタート

森林総合研究所 林木育種センター 東北育種場長 中村 隆史

①はじめに

農林水産省は令和3年5月に、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するため、「みどりの食料システム戦略」を策定しました。この中で2050年までに目指す姿として、林業関係では「エリートツリー等を林業用苗木の9割以上に拡大」することを目標に掲げました。

さらに、6月には新たな「森林・林業基本計画」が閣議決定されたところであり、この中では、再造林の実施に不可欠な優良種苗を確保するために、「林木遺伝資源の収集・保存、第3世代精英樹等の品種開発、採種園・採穂園の整備、種苗生産者に対する育苗技術の指導（中略）などの取組を進める。」とともに、造林の省力化や低コスト化を図る観点から、「成長に優れたエリートツリー等の種苗（中略）の生産体制を整備することとし、原種苗木の増殖技術の開発、特定母樹由来の苗木の増産（中略）等を進める。」としています。

このように、昨今、適度な伐採と再造林の促進が言われている中、林木育種事業が注目される機会が増えてきています。

②第5期中長期計画がスタート

そして、国立研究開発法人森林研究・整備機構では、農林水産省が定めた令和3年4月からの5年間を期間とする「第5期中長期目標」に基づいて、「第5期中長期計画」を作成し、令和3年3月末に、農林水産大臣から認可を受けました。

4月からスタートしたこの中長期計画の中では、「多様な森林の造成・保全と持続的資源利用に貢献する林木育種」が重点課題の一つとしてあげられています。そしてこの重点課題を達成するために、次の2つの戦略課題を設定しています。

- (1) 林木育種基盤の充実による多様な品種の開発

林木育種基盤の充実を図るため、早生樹等重要度が高い育種素材や希少種等の遺伝資源を収集し、保存・増殖を行うとともに、エリートツリーに加え初期成長に優れた品種や無花粉スギ品種等の優良品種の開発を推進。

- (2) 林木育種技術の高度化・拡張と特定母樹等の普及強化

林木育種の更なる高速化・効率化を図るための技術開発を進めるとともに、エリートツリー由来特定母樹及び多様な優良品種を早期に普及させるため、原種苗木の生産体制を強化し、計画的な生産を進めることにより、県への特定母樹等の原種配布を確実に実施。また、あわせて、林木育種技術の指導・普及を推進。

③東北育種場の重点取組事項

この第5期中長期計画のもと、当育種場では以下のことを重点的に取り組んで参ります。

- (1) エリートツリー・特定母樹の開発推進

スギ・カラマツのエリートツリー選出を進めるとともに、これらエリートツリー等の中から特定母樹を申請。

- (2) カラマツ種子・苗木の安定的な供給技術の開発

原種増産のためのつぎ木技術の改良を推進。

- (3) 広葉樹の早生樹育成技術の開発

東北育種基本区で早生樹として期待されるユリノキの優良系統選抜とモデル採種園の造成、オノエヤナギの直挿し増殖技術等の高度化を推進。

- (4) マツノサイセンチュウ抵抗性品種の開発

抵抗性品種の開発・普及を継続的に実施。

- (5) 県に配布する原種の増殖及び林木遺伝資源の収集・保存

県への特定母樹や各種抵抗性品種、花粉症対策品種等の原種配布の着実な実施。また、貴重な林木遺伝資源の収集・保存を行うとともに、地域の要望に応じた林木遺伝子銀行110番の取組を推進。

最後になりますが、林木育種事業を進めていくためには東北森林管理局をはじめ関係各機関の皆様との連携が重要となります。今後ともご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



東北育種場苗畑から望む岩手山

晩秋のブナ林にて

計画課 生態系保全係長 有本 実

黄葉真っ盛りのブナ林はもちろん好きですが、積み重なった落葉や新雪を踏みしめて歩く晩秋のブナ林もまた趣があって良いものです。ここ数年、毎年11月中旬に訪ね歩いている北東北のブナ林がありますが、あわよくばクマゲラを撮影できないか…と望遠レンズを携えていると、大抵クマゲラではなくクマに出会います。

昨年11月にこの森を散策したときには、林内に10cm程の新雪が積もっていましたが、林床の雪が所々で豪快に掘り返されていました①。新しい大きな足跡も付いていて、これは近いな…と息を潜めて双眼鏡で周囲を見渡すと、大きなツキノワグマが夢中で雪を掘っている姿を見つけました②。何をしているんだろう?と視線を上に向けると、至る所でツキノワグマがブナの実を食べたクマ糞が見られ③、そういえば今年この森一帯のブナの実が豊作だったことに気づき、納得しました。雪が積もった後でさえ、雪を掘り返してまで食べたくなるほどツキノワグマにとってブナの実が魅

力的なのでしょう。

クマといえどもどうしても人身被害がクローズアップされてしまいますが、ツキノワグマは植物食寄りの雑食性で、木の実を食べて未消化の種子を遠くへ運んで糞とともに散布してくれます。冬眠前にブナの実は何粒ぐらい食べるんだろう?と雪上に落ちていたブナの殻斗をまじまじと見つめると④、殻斗表面のバクテリアを食べているのでしょうか、2mm程の小さなトビムシ類が何十匹と群がっていました⑤。“陸のプランクトン”と称されるトビムシ類は、落葉や菌類などを食べ、アリ類やクモ類などに食べられ、森林生態系を底辺で支える重要な役割を果たします。

ブナの実に魅せられたツキノワグマとトビムシ類。大きかろうと小さかろうと、存在価値のない在来種など存在しない…などと思いを巡らせる、静かな晩秋のブナ林が好きです。



①掘り返された新雪



②新雪を夢中で掘り返すツキノワグマ



③至る所で見られたクマ糞



④雪上に落ちていたブナの殻斗



⑤ブナの殻斗に群がるトビムシ類(④を拡大)



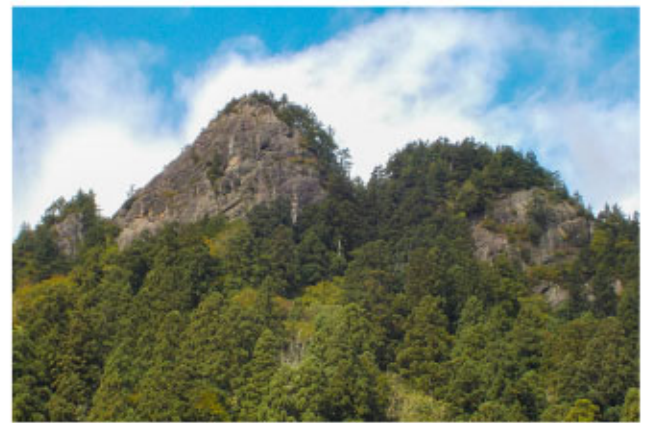
天然秋田杉の麓より

米代東部森林管理署上小阿仁支署 首席森林官 北林 忍



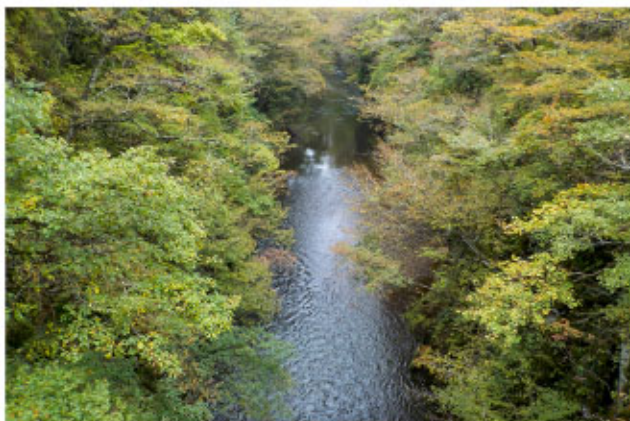
森林の巨人たち百選に選ばれた「コブ杉」

爽秋の候、上小阿仁村の山々は紅葉で秋も深々と進み、冬の訪れを待っているかのような季節となっております。
私の管轄している南沢森林事務所は秋田県のほぼ中央に位置し、南北に跨がる山間部に太平山の麓を源流部とした小阿仁川が流れ、上小阿仁村の中心部を通り一級河川の米代川へ注いでいます。
管轄する国有林には「コブ杉」、「カゴ山」、「大錠・萩形溪谷」、「萩形キャンプ場」など見所が沢山あります。上大内沢自然観察教育林には、樹齢約二五〇年、樹高五〇mを超える巨木の天然秋田杉が存在します。その中にある「コブ杉」は、平成一二年に林野庁の「森の巨人たち百選」に選ばれました。また、平成一六年には、東京上野の国立科学博物館に展示



切り立った岩肌「カゴ山」

するために一本、京都迎賓館の建築材として二本の天然秋田杉が供給されております。カゴ山は、萩形ダム管理事務所の上にそびえ立ち、木々の上に切り立った岩肌が見えます。ちなみにカゴとは、険しい崖を意味し、その昔、地元の人々が山の頂上に登り、景色を見ていたとのこととです。間近に見るとかなり危険なので容易に登らない方がいいと思います。大錠溪谷や萩形溪谷では天然秋田杉とブナ、モミジなどと調和して美しい景観が作り出されております。特に、萩形キャンプ場は、コロナ禍の影響でここ一二年はアウトドア派に親まれ、今年の夏には、家族連れの方が多く見られました。興味のある方は、是非、上小阿仁村に足を運んでみてはいかがでしょうか。



秋には美しい紅葉が見られる「大錠溪谷」

日々の業務で一番気を付けないといけないのは、スズメバチやクマですが、ヤマビルも生息しているので気が抜けません。
ヤマビルの忌避剤を手に取り、全身にスプレーをかけて山へ行くのですが、特に雨の日には、ヒルも元気が良くパワーアップしており、長靴にミミズのようにへばり付いてくるので油断大敵です。
以前に比べ国有林の仕事も多様化している中で、山菜採りや釣り人、或いは登山者などの要望があれば聞く耳を持ち、それに応えるような仕事をしたいかなければならないと日々痛感しております。
今後も、国民や地元市町村に喜ばれるように職務を全うしなければならぬと思っております。

我が署の名所



秋田県五城目町 米代西部森林管理署管内

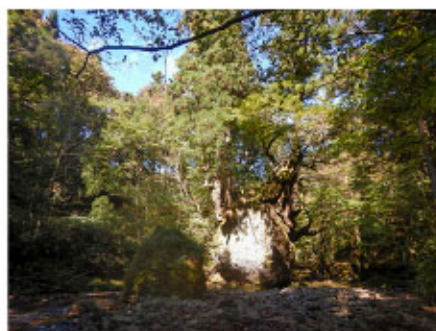
ネコバリ岩と 釣りキチ三平の家

秋田県南秋田郡五城目町には、釣り人を魅了する馬場目川の上流に、静かにたたずむ巨大な奇岩があります。高さ約6mの巨岩の上にはスギ、ブナ、カエデといった様々な樹木が髪の毛が逆立つように生えており、まるで小さな森林を形成しているようにも見えます。岩の名前は「ネコバリ（根古波離）岩」。岩の上の木々から伸びた根が、波打ちながら地面へと繋がっている姿が「がんばっている」ように見えることから、この名前が付けられたと言われており、そばに近づいてみると、自然のたくましさや生命力のすごさを感じることが出来ます。また、見る角度によってはトトロのようにも思えます。

平成21年3月に公開された映画「釣りキチ三平」(秋田県横手市増田町出身の漫画家矢口高雄原



ネコバリ岩



角度によってはトトロ?



釣りキチ三平の家

作)のロケ地にもなり、観光客も訪れるパワースポットとなっています。また、ネコバリ岩の約2キロ手前にある北ノ又集落には「三平の家」として使われた茅葺き屋根の民家があり、一般公開されています。山あいの高台にあり、築百年程が経過しています。高台からは田んぼと山々を望むことができます。居間には囲炉裏が設けられており、映画で使用された部屋を見ることができ、ロケ時の雰囲気を感じることが出来ます。残念ながら「三平の家」は、建物の老朽化などもあり、矢口高雄さんの命日に合わせ令和3年11月20日をもって閉館することが決まっております。この記事が広報に掲載される頃には見学することができなくなりますが、魅力ある日本の原風景とパワースポット「ネコバリ岩」を一度訪れてはいかがでしょうか。



ロケ当時の写真がいっぱい



交通アクセス (ネコバリ岩)

五城目町中心街より県道15号を車で馬場目方面へ約30分。入口にネコバリ岩看板があります。

米代西部森林管理署

〒016-0815
秋田県能代市御指南町3-45
TEL (0185) 54-5511
FAX (0185) 54-5514